

JR連合2018春季生活闘争 グループ労組連絡会FAXニュース No.11

2018年 4月11日

日本鉄道労働組合連合会

JR西日本連合・JR九州連合の4単組が妥結

～ベースアップの実施や休日増、制度改善等で多くの成果～

2018春季生活闘争の取り組みにおいて、JR西日本連合・JR九州連合に加盟する4単組が春闘交渉を妥結した。3月27日にJR九州システムソリューションズ労組、同28日にJR西日本レンタカー&リース労組とJR西日本コミュニケーションズ労組、同30日にJR九州バス労組がそれぞれ会社から回答を引き出している。

JR九州システムソリューションズ労組【3月27日妥結】

- ・ 定期昇給 実施
- ・ 慶弔見舞金制度の新設
- ・ パートナー社員の無期転換制度の導入

JR西日本レンタカー&リース労組【3月28日妥結】

- ・ 定期昇給 実施
- ・ ベースアップ 社員 1,000円
嘱託社員 500円または1,000円
契約社員【第一種】 2,000円
- ・ 夏季手当 社員 1.7ヵ月+50,000円
エリア社員 1.5ヵ月+40,000円
嘱託社員 1.2ヵ月+30,000円
契約社員【第一種】 1.0ヵ月+30,000円
契約社員【第二種】 30,000～10,000円
- ・ 特別手当 社員 50,000円
エリア・嘱託社員 30,000円
契約社員 10,000円
- ・ 永年勤続表彰制度の新設
- ・ 転居を伴う異動者への住宅手当の増額

J R西日本コミュニケーションズ労組【3月28日妥結】

- ・ 定期昇給 実施 (6,003 円)

J R九州バス労組【3月30日妥結】

- ・ 定期昇給 実施
- ・ 特別休日の増付与 (4日)
- ・ ななつ星乗務手当の増額 (日額 500 円→1,000 円)
- ・ 通勤手当の支給上限額の増額 (月額 40,000 円→50,000 円)
- ・ 車両職への技術手当の新設 (月額 5,000 円)
- ・ 住宅援助金の増額 (【月額】持家 500 円、賃貸 1,000 円増額)
- ・ 単身赴任者に対する帰省旅費の新設 (月額 20,000 円)
- ・ 通勤条件の改善 (新幹線・特急列車の利用可)
- ・ 職場環境の改善 (女性設備)

連合が第3回回答集計結果を公表、中小組合は高水準の賃上げ

連合は4月6日、第3回回答集計結果を公表した。集計結果によると、すべての組合が月例賃金にこだわり「底上げ・底支え」「格差是正」をめざして取り組んだ結果、4月4日時点で要求提出済みの5,678組合のうち、月例賃金改善を要求した組合は4,594組合(昨年同時期比907組合増)、そのうち2,129組合・46.4%が妥結済みで、昨年同時期を920組合・13.6ポイント上回っている。

また、賃金引き上げの回答は、第3回集計においても、企業規模にかかわらず昨年同時期を上回っており、とりわけ、平均賃金方式で回答を引き出した中小組合(300人未満)の平均は5,180円・2.06%で、額・率ともに、2014年以降最も回答水準が高かった2015年とほぼ同水準となった。さらに、非正規労働者の賃上げの回答水準は、昨年同時期比で時給3.21円増・月給589円増となり、連合は、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動が定着・前進し、中小組合が自らめざす賃金水準にこだわり、粘り強く交渉した成果と受け止める」との見解を示している。

J Rグループ労組連絡会では25単組が交渉を妥結

J Rグループ労組連絡会では、本日時点で81単組の要求提出、25単組の交渉妥結を確認しており、そのうち、13単組でベースアップ回答を引き出すなど、賃上げの流れは依然として続いている。

しかし、多くの単組では依然として交渉が継続されていることから、魅力ある職場と労働条件の確立にむけて、月例賃金にこだわった精力的な交渉を各単組に要請するものである。

以 上